

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

1	表題(課題)名	外国人技能実習生への注意喚起	
2	工事(業務)名	燕・弥彦水管橋橋台受託工事	
3	受注者名	大河津建設株式会社	
4	工期	令和3年8月18日～令和4年6月30日	
5	担当技術者(立場)名	監理技術者	(まるやま かずふみ) 丸山 和史
6	担当主任監督(調査)員	三条出張所長	
7	課題区分名	⑥安全管理 ( )	
8	工事(業務)概要	燕市笈ヶ島で水管橋の橋台とそれに伴う条件護岸等を設置した	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>○本工事施工の際、起工測量・既製杭工・仮設工などの工種において下請負業者の中に外国人技能実習生の入場があった。          実習生が入場し様子を見ていると、作業内容については下請負業者内で研修してくるおかげで問題ないと思ったが、それ以外の会話となるとたどたどしくなり意思疎通が難しいと感じた。          実際、実習生に注意喚起の看板の内容がわかるか聞いてみたところ、なんとなくはわかる程度にしか伝わっておらず、まったくわからない人もいたので注意喚起看板を工夫した。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>○注意喚起看板の内容を単語とイラストで表現し、さらに今回入場する可能性の外国人技能実習生はすべてベトナム人であったため、母国語であるベトナム語を使用して注意喚起を実施した。</p>		
11	【実施結果】		
	<p>○看板設置後、入場してきた実習生に内容がわかるか確認したところ、その方は日本に来てから長く、ひらがななら問題なく読めるので単語とイラストで理解できるとのことだったが、ベトナム語で書かれているとより内容がわかると言ってもらった。          ○今回は注意喚起看板のみだったが、今後外国人実習生と一緒にすることが当たり前になってくると思うので、「周知」の方法を考えていきたい。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

○実施状況写真

